

# 轉法輪



令和四年 壬寅 みずのえとら

文はこれ糟粕なり さくばく  
文は瓦礫なり がれき

弘法大師

令和四年元旦発行  
 発行所 犬飼山轉法輪寺  
 〒六三七一〇〇七二  
 奈良県五條市犬飼町一二四  
 電話〇七四七二二一四四〇三  
 FAX〇七四七一五一四七二七  
 編集発行人 桑山聖淳  
 印刷所 森本印刷工業所  
 和・伊都郡かつらぎ町妙寺

## 新春のお喜びを

### 申し上げます

皆さまには、お健やかに新春を迎えられたことかと存じます。  
 流行病も次第に落ち着きをみせ、動きやすい世の中になってきたように思います。

今年こそ、新しいことに「トライ」したいものですね！

### 初詣にお参り下さい

十二月三十一日(金)

年越し護摩供

一月一日(土)・二日(日)

破魔矢授与

一月三日(月) 九時半より

新春護摩法会

鏡餅接待

本年の甘酒接待は時間・数量を限定して行う予定です。ご了承ください。また、感染状況を鑑みて、諸予定に変更がある場合があります。詳細はお問い合わせください。

犬飼山轉法輪寺

住職 桑山慈紹

### お大師さまのお言葉

言葉の意味を知るだけでは、酒の粕や川原の小石を拾うようなものだ。その奥の真意を考え求めなくては意味がない。

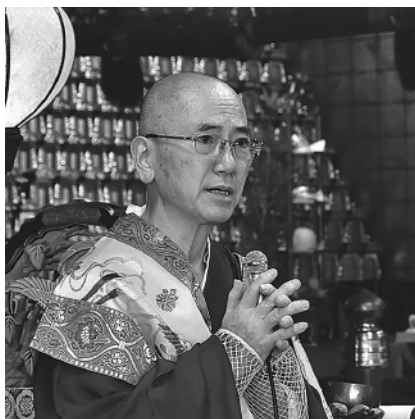
令和四年度 壬寅年 みずのえとら

# 方位の吉凶

住職 桑山 慈紹

新年あけまして

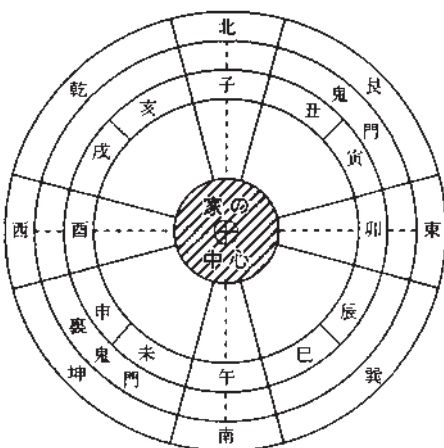
おめでとうございます



これより令和四年壬寅（みずえとら）年の方位の吉凶のお話を例年の如く簡単に説明致します。暦を見ながら読んでください。  
本年は、五黄土星という星が中宮に位しています。所謂、方位盤が本来の姿に戻ったこととなります。

よって本年、年盤としては外向きに暗剣殺・五黄殺という大凶の方崇りがありません。但し、本宅（住居）の中心部に暗剣殺・五黄殺が同居した型で位しています。従いまして、今年の家を中心部の工事が大凶となります。勿論本宅の屋根葺替なども大凶であります。

家相方位盤



暗剣殺(中央)・五黄殺(中央)

## 暗剣殺とは何か？

暗剣殺とは、読んで字の如く、暗闇から剣が飛び出して来て殺すと書き、ビックリする様な厄災が、外から急に鋭く深く激しく降りかかる方崇りを云います。

## 五黄殺とは何か？

五黄殺とは、強烈な土に戻す作用を引き起す方崇りのことです。  
土には本来、物を育てる力と、土に戻す作用があります。五黄殺とは、この後者で、三ヶ月ごと、又は三年ごとに繰り返し、向こう五十年も祟る恐しい方崇りです。  
よって本年、本宅中心を工事すると、暗剣殺と五黄殺がかさなります。事象として、悪人・盗人・高利貸・死人・高熱性疾患・悪疾・焼跡・悪化・凶暴・荒涼・廃業・爆発などを暗示しています。

## 歳破神(西南西 凶)

今年が寅年です。  
よって申(西南西)に歳破神が位置しています。この歳破神は心中の願いや行動に破れの事象を引き起こします。普請、移転、旅行、縁組等この方位一年間、どなた様も要注意です。

## 今年は家の周囲の工事等は吉？

確かに本年は外に向かって暗剣殺・五黄殺が年盤としてはございませぬ。  
よって家の周囲の工事は例年よりや

家相・方位の相談をお受けいたします。新築・リフォーム・転宅の際はご相談ください。

# 輪 法 轉 (3)

り易いと存じます。しかし、ご自身の九星方位のあるところは、本命殺となつて凶方となつています。

例えば、三碧木星の方は、東方三十度に本年は自分の星が位して、この三碧木星の人が東方位を犯しますと、本命殺となり凶作用を引き起こします。またその反対方位の西方、七赤金星と書いてある方位三十度は、本命的殺となり凶作用を引き起こします。

この様にすべての九星の自分の星のあるところにそれぞれ本命殺があり、その反対側に本命的殺がありますので、各個人により異なり注意が必要です。

## 月盤の暗剣殺・五黄殺はある？

更に、申し上げねばならぬことがあります。年盤に於いては暗剣殺・五黄殺は外向きにはありませんが、月盤としては外向きにも内にもあります。

年盤とは、年としての働きで、月盤とは月としての働きを示しています。凶作用の割合は、年盤を百の凶作用とすれば、月盤は拾位の凶作用です。

しかし、年盤・月盤・日盤と重なりますと、凶作用が掛算式に増加します。

## 今年の福の神

さて本年の福神(歳徳神)は壬(みずのえ)北北西方位です。あきの方位、福神とあがめられる北北西方位に本年福を求めるのも良いでしょう。但し、日頃信仰している神社には必ずお参りして功德をつんで下さい。

北の仏様は釈迦如来様です。ご真言に

のうまくさんまんだ

ぼだなんばく

南無大師遍照金剛

南無大明神

と、各七返唱えて福を頂いて下さい。

## 家相、方位のお尋ねの方法

新年にあたり、いろいろと計画されていると存じます。建築、改築、転宅等ご不明な点がございましたらお気軽にお尋ね下さい。殊に家の普請、土木工事等の際し、グラフ用紙に家の平面図を正しく書き、磁石を数回ふつて南北線を正確に入れた図面と、ご家族の生年月日、更に現住所と新築現場の位置を知るための正しい地図をそえてお尋ね下さい。

十二月十一日(令和三年)

## 永代供養記念講演

## 「陀々堂の鬼走り」

本年の講演は、地元阪合部の念仏寺陀々堂の鬼走りについてだった。元龍谷大学教授の浦西勉先生よりは、「鬼走り」の行事について民俗学の観点から話をされた。

奈良東大寺の「お水取り」にも匹敵するお祭りであることや、災いをはらい福をもたらす善鬼が登場すること、室町時代から約五百年も続いていること、日本でも珍しい貴重な行事であること(平成七年に国の重要無形民俗文化財に指定されている)。

まつりの主催者である鬼走り保存会の辻本英夫氏、岩阪雅由氏は、十二月の中頃からたいまつ作りのために松の根を掘るなどの準備や、こより作り、精進齋の生活など現場の苦労と、達成感のお話が熱く語られた。

コロナも少し落ち着いた令和四年の一月十四日、鬼走りの棒打の「かたん・かたん」という音が村中に響きわたることだろう。

水児の個人供養を受け付けています。毎日9時、11時、14時、16時からお勤めを致します。

## 私達を支えるもの

— 鬼走り講演をうけて —

副住職 桑山聖淳

夜の闇のなか、本堂の裏から鳴り響く打音に、燃え盛る炎。鬼面をつけた大男たちが、たいまつを持って練り歩く。私とその祭りの最前列をとることにこだわったのは物心つく前のことで、もう思い出せない。いわゆる「奇祭」に数えられる「陀々堂の鬼走り」は、異様さと迫力にあふれ、惹かれずにはいられたかったのだろう。その私も時が経ち、今年は大導師として祭りの中核を担う。

今期の永代供養記念講演「鬼走り」企画の始まりは、犬飼町の元・火天かて役※の松田さんから、お焚き上げとして、たいまつを「桶」を引き取ったことだった。火天：鬼の登場前に、たいまつを炎で場を清める役。三十キ口のたいまつ（これでも小さい方だ）を含めて四つが寺に持ち込まれた。祈願したのちにお焚き上げか…とも考えたが、これは一度おもてに出さねばと思いなおし、今回の企画が始まった。ただ

自分たちが惹かれた祭りを、多くの人に知ってもらおうという気持ちで。

しかし、企画を進めるうちに、私の中で考えが変わってきた。ただ私が好きな祭りを披露するだけでは、あまり意味がないのではないか。本当に大切なのは、講演を聞く皆がそれぞれに、地元の祭りに目を向けることなのではないだろうか。

鬼走りは、まれな行事だ。愛着をもち、祭りを支える人々が地域に多くいる。一方で、少子化が進んだうえでコロナ禍。立ち行かなくなりつつある伝統行事も各地に多くあるだろう。何のための祭りなのか、労力をかける価値はあるのか、主催者や地元の方々にも迷いがあるかもしれない。

私はその意義を、「これからの子どもたちのため」と唱えたい。大きくなった時に、地元を語ることができるよう成長してほしいと思うからだ。自身が育ってきた環境や好きなものを問われたとき、「テレビ番組」「ゲーム」「漫画」のような、日本中どこでも言えるようなものなら、あまりに貧しい。

子どもたちもいずれ社会に出る。「世界で自分しかできない仕事」など、そう

そうある訳もなく、誰でも替わりのきく仕事で生計を立てていることに気づいた時、彼を支えるものは何だろうか。

私はそれを、「自分が育ってきた環境は特別である」と思える心に求めたい。地元を誇る気持ちと言ってもいい。その心を育てる一つが、地域の行事を守ることではないか。

これは、永代供養会の主眼である、先祖まつりにも通じる。自分を育てた人、今の自分につながる人たちに思いを馳せるとき、誰の替りもきかない、唯一の命を受け継いでいることと思う。こちらから祈りや供養を届けているようで実は、先祖の存在が自身を支えてくれているということだ。

「世界に一つだけの花」は、放っておいては育たないのだろう。大人たちが地域や家庭において、受け継いだものを大切に、守っていく姿勢が、自身そして次世代の糧になりうると信じている。それに対して反抗する姿勢も含めても。



毎月21日は月並御影供(9時半～)・28日は不動尊護摩供(9時～)です。  
どなたでもお気軽にご参拝くださいませ。入退出自由、昼食お接待です。



第四回 「しよっちゅう」

「お父さんがコタツで居眠りしてるよ、風邪ひかないかしら」と言う娘に、  
「そんなのしよっちゅうよ、大丈夫でしよ」と母。

「しじゅう」(いつも)の意味で使われるそれ……仏教語です！  
「しよっちゅう」は、初中終、はじめ、なか・おわりが、なまったものです。この言葉は、お釈迦さまが弟子たちにかけたものでした。  
お釈迦さまに六十人の弟子ができた時のこと。彼らを集め、  
「あなた方は世間のしがらみを脱し、心の自由を得た。これからは世の人々の幸福のため、教えを説く旅に出よ。」  
「その教えは、初めも、中も、終わりも善いものを、道理と表現を備えた説法を心がけること。」と説かれました。法華経にも「初中終善」という言葉で

今日に伝えられます。

また密教においては、初中終を身口意(からだ・ことば・こころ)の三密と、戒・定・慧(悪を止める戒律・心の安定を得る禅定・仏法を悟る智慧)にあてて解釈をしています。いわば、規則ある生活をいとなみ、心がやすらぎ、悟りの智慧を得るための行いが、「初中終」しよっちゅう」ということになるのですね。

居眠りに見えているお父さんも、実は深い悟りの禅定に入っているのかもしれないよ……？

前回の正御影供に、法話に来てくださった密僧正のお孫さんが、得度(お坊さんの入門式)を受けた時の作文を紹介させていただきます！

ぼく、お坊さんになりました

小学四年生 密 祐貴

それはとつげんのことだった。夏休みの前日に、お父さんがぼくとお兄ちゃんをよんで言った。

「夏休みに、高野山で得度式を受けてもらおうと思う。得度式というのはお坊さんの入学式なんだ。二人はお坊さんになってもらいたい。」

「いや。ぜつたい、いや。」

ぼくは大声でおこった。悲しくて泣きたくなった。するとお母さんが言った。「ゆうきは漁師になるのがゆめなんよね。だいじょうぶ。お坊さんになるって言っても、お父さんのようになるにはいっぱい修行しないとねれないからね。」

これでお坊さんになるって決まったわけじゃないことがわかって「それならいいか。」と思った。

思い出してみたら、春にお母さんがうでやかたのサイズを測ったり、作務衣の色は何色がいい？と聞かれたことがあった。夜にミシンで何かを作っていたのは、僕たちの衣だった。ずつとじゅんびしてくれていたことに気が付き、うれしくなった。作務衣は少し大きかったけれど、白衣はぴったりだった。

高野山には朝五時に起きて出発した。くねくね道に気分が悪くなったけど、無事に着いた。この日は練習会で、

そこでなんと友達に会った。久しぶりに会えて、いっしょに得度式に出ると知ってうれしかった。

練習会が終わるとさんぱつ屋に行つた。そしてものすごくはすかしい髪形にされた。丸坊主に三ヶ所だけ残すという、見たこともないかみがた。ぼうしを忘れたので、弟のぼうしをむりやりかぶって帰った。

「もう得度式なんて本当にいや。」その気持ちを覚えてくれたのは、やっぱりお母さんだった。

「ゆうき、そのかみがた似合うね」その言葉がなかったら、ぼくは得度式が終わるまで、ずっと「いやだ」と思



前列右から2番目が密祐貴君。

っていたはずだ。

得度式当日、会場に着くと、みんな同じ頭だったので、もうはずかしくなかった。まず丁字湯に入り、体を清めてから衣を着て講堂に向かった。

いよいよ得度式が始まった。ぼくはとともきんちようした。体育館くらい広い講堂に、たくさんのお坊さんが、ぼくたちの周りをぐるりと囲んでいたからだ。

如法衣を着るのがむずかしくて、ころらんしたけど、なんとか着れた。それから、頭にのこした三ヶ所のかみの毛をそって丸坊主にした。友達とお互いの丸坊主のすがたを見て、ニヤリと笑いあった。

一番大変だったことは、衣を着て三礼することだった。三回礼拝するのだけど、すわって頭を地面につけ、ひざをついたり、手をだしたり。衣の中は汗でびっしょりになって、だんだんと体が重くなった。最後に高野山の管長さんのお話を聞いて得度式が終わった。

家に帰ると、おじいちゃんとおばあちゃんがニコニコ笑って、

「よくがんばったね」

と言ってくれた。それからお寺の役員さんに報告に行った。丸坊主の頭をなでて、

「おめでとう、これからはがんばってね。」

とお祝いを言われた。ぼくはお坊さんになって、こんなにもみんなによるこんでもらえるなんて意外だった。

最初はいやだったけど、だんだんとお寺の手伝いがんばろうという気持ちに変わってきた。漁師になる夢はあきらめたくないから、お坊さんとどっちもすることに決めました。



文中に登場する友達は、轉法輪寺住職の孫 圓光寺の小松兄弟です。

ご詠歌をお唱えしたい方を募集しています。犬飼詠歌講では少人数で気遣いなくご詠歌を覚えられます。各地の巡拝でもお唱えできます。

# 輪 法 轉 (7)

## 御幣のおかげ

五條市 Y・S

「明日は久しぶりに友だちにと会う日、さて何からお話ししようかなあ」と休んだその晩のことです。

夜中の一時半すぎ、トイレに行こうと布団から出て、一階に降りようと歩きだしました。ところが、まだ廊下の続きだと思った足場は階段の始まりで、そのままドドドッと十二段下まで落ちてしまいました。

しばらくは何が起きたのか分からなくて、頭の中で「えらいことになった……」という思いが巡ります。頭が痛いので手を当ててみると、コブがどんどん大きくなるのを感じました。冷蔵庫まで這っていき、氷を取り出して冷やしながら、とにかく娘に電話をして、すぐに来てもらったのです。

娘夫婦がすぐに駆けつけてくれ、病院に連れて行ってくれました。その晩の当直の先生が外科医だったことも幸いしました。レントゲンやCT検査など三時間くらい診ていただき、骨折していないこと、他にも異常がないこと、

誰かに付き添ってもらうことを条件に、無理を言って家に帰してもらいました。

その晩も、次の晩も、全身打撲の痛みでうなされていたようです。

「そうだ、いつもお参りしたときに、二十八日のお不動様の護摩の煙で数珠を清めて、痛いところをさすっている人がいたなあ、護摩の御幣も痛いところ貼るといいよ、と言っていた人も……」そのことを思い出し、娘に財布をとってもらい、中にしまっていた御幣を取り出し、肩に貼ってもらいました。

南無大師遍照金剛……お不動様のご真言も唱えながら、どうか治してくださいと祈りながらその晩は休みました。

朝になつて娘が言うには「昨日の晩はお母さん、すやすやと寝ていたよ」と。それからはだんだんと痛みがやわらぎ、好きなご詠歌のおけいこも再開することができました。

こうして骨折することもなく、元気にさせていただいたのは「おかげ」だと思えます。仏さま、神さまに守られていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

合掌

## お寺でお勤めしませんか（長期勤務歓迎） 犬飼寺スタッフ募集

### 【受付・事務員】

仕事内容 受付・事務作業・お守り販売等  
勤務時間 8:00～17:00（時間応相談）週3～5日  
時給 1,000前後※交通費含む（賞与あり）  
雇用形態 アルバイト（希望により正規雇用可）  
募集人数 2名  
応募条件 20～60才 性別不問  
基礎的なPCスキルがある方  
几帳面な方・習字経験者

### 【作務員】

仕事内容 境内・寺内の作務・掃除等。  
勤務時間 8:00～17:00（時間応相談）週3～5日  
時給 1,000前後※交通費含む（賞与あり）  
雇用形態 アルバイト（希望により正規雇用可）  
募集人数 2名  
応募条件 20～70才 性別不問  
庭掃除・片付けが好きな方

どちらも、参拝に来られる方々が初めに会うのが、受付であり作務員です。人と接するのが好きな方が向いています。また大きな法要の中心になる、責任ある仕事です。お寺や仏さまが好きな方に来て頂けるとうれしいです。

お世話人さま募集！檀家さんに限らず、信心を持って行事のお手伝いして  
もらえる方であれば大歓迎！お大師さまの教えの輪を広げましょう。

# 初詣

十二月三十一日(金)夜十二時より

百八灯明の点火

般若理趣三昧

初護摩供

一月一日(土)二日(日)

開運破魔矢

狩場明神御真影の授与



## 御鏡開き

一月三日(月)午前九時半より

法要

新春護摩法会・お鏡もちのお接待

## 初大師

一月二十一日(金)十時より

大般若経六百巻転読法要

―七難即滅七福即生―

1月3日(月)  
イヌカイコンサート

盲導犬  
チャリティ企画



三日の鏡開き法要の際に、境内でチャリティを行います。皆さまどうぞ会いに来てください!



二人のおやじコンサート  
畑中秀太さん・辻本公平さん

## 初不動

一月二十八日(金)九時より

十二座護摩供

―厄除開運・善願成就の大祈禱―

## 星祭祈願受付中

一年間の厄除け開運のために  
ご祈禱をお申し込み下さい。



## 星祭り結願祭

二月三日(木)十時より

―厄除けのお札を

お渡しします―